音楽で元気届けよう
5校が被災地支援の演奏会

「音楽で被災地に元気を届けよう」と六月十八日、区内の高校・中学校吹奏楽部による「港区ふれあいチャリティコンサート」がオーク広場で催されました。約千三百人が力強い演奏に耳を傾けると共に、多くの義援金を投じました。市岡高同窓会が区に提案し、区内の各学校や諸団体の協力を得て実現したもの。

コンサートは市岡中放送部の司会で進行。参加校グループ代表と田端区長の挨拶のあと、五校の吹奏楽部が演奏を披露しました。

市岡高は「心の瞳」など、築港中は「レッツ・スイング」など、港南中は「風になりたい」など、市岡東中は「明日があるさ」など、市岡中は「ロマネスク」などを披露。スイングには手拍子が、スタンドソロには拍手が起こりました。

♪会場全体でエールも

このあと港消防署員が被災地支援の報告を、平松市長が激励の挨拶を行ない、最後に五校合同で「Believe」を披露。合唱も含めた壮大な演奏に拍手が鳴りやみませんでした。さらに会場全体で「被災地の皆さん、一緒に頑張りましょう!」とのエールが唱和されました。

「音楽で被災地へ元気を届けよう」と催された「港区ふれあいチャリティコンサート」（写真は最後を飾った合同演奏）＝６月18日、オーク広場で

会場には募金箱が設置され、生徒らの「義援金お願いしま～す」の声に大勢が応じていました。集まった約二十万円は日本赤十字社を通して届けられ、コンサートの様子を収めた動画DVDが宮城県へ送られることになっています。

♪「早く生活が元に」

最後まで耳を傾けていた市岡高生の保護者四人は「娘になぜもっと早くしなかったかと問うと、関心が薄れ始めた頃がいいと言われ、納得しました」「この催しが今後、楽器を贈るなどの支援に繋がれば」。

演奏を終えた港南中吹奏楽部の池田彩衣さん（一年）は「今日は歌や踊りで参加しました。他校の演奏も聞けて勉強になり、多くの人たちに喜んで頂いて嬉しかったです。被災地では原発の影響が一番心配です。一日も早く生活が元に戻ってほしいと願いながら、歌ったり踊ったりしました」と話していました。

被災地へ思い馳せ
介護施設で支援コンサート

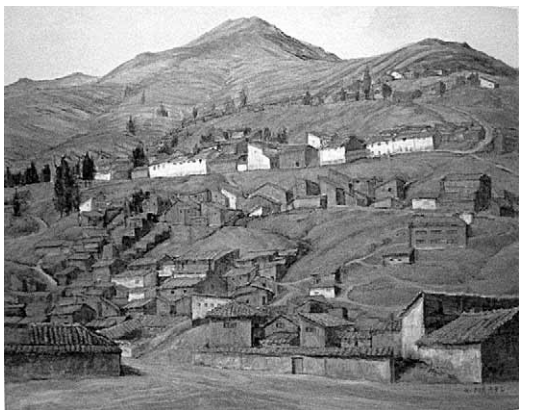
「同じ海の傍に暮らす者として出来る支援を」と通所介護施設「マリーナデイサービスセンター」（港晴）で六月十八日、「東日本大震災被災地支援チャリティコンサート」が催されました。介護関係者やスナックママら二十数名が参加。波除在住の演歌歌手・藤かほりさんのコンサートを楽しむと共に、義援金を投じました。

同施設の森速見社長が「震災から百日。同じ海の傍に暮らす者として力になれたらと思い、企画した」と、「ふるさと」などを参加者と唱和。持ち歌の「男の夢十二代」を披露し、最後は手拍子を得ながら「河内音頭」で締めくくりました。

参加したスナック「志まづ」（八幡屋レインボービル内）のママは「こんな素晴らしい催しならもっと来てもらわないともったいないわ。今日は被災地の生々しい様子と共に、ボランティアの食事や排泄など色々難しい問題もあることが分かり、勉強になりました」と話していました。

被災地への思いが溢れたチャリティコンサート（上は挨拶する森社長、下は藤かほりさんのライブ）

人劇場 みなと



アンデスを描いた「丘の上の家々」平成２年

〔第８幕〕

平和の願い画布（キャンバス）に込めて―
川島恵美子さん（80）（八幡屋）

（前号まで　戦後の女学校時代、平和の空に聳える桜島に感動して初めて油絵を描いた。港区で会社に勤め、活動家の夫と結婚。初の個展を開き、絵画を生き方に定めた。昭和四十一年、初の海外スケッチ。母と姑を見送ったあとスランプに陥るも立ち直り、内外を次々と訪問。美しい日本の棚田には農民の営みを見た―）

◆女は織物、男は編物

昭和六十年に父を九十六歳で見送った私は昭和六十三年、初めて南米を訪れました。テレビなどで観た風景に憧れ、焦げるような思いを抱いていたのが、ようやく実現したのです。

絵画教室の生徒ら女性ばかり十数人で訪れたのは、アンデス山脈にかかる国、ペルーとボリビアでした。この辺りは殺風景そのもので、木はユーカリ、花はエニシダくらいしか生えていませんでしたが、その中で、独特の形をした帽子、代赭色（土から取った染料による褐色を帯びた赤色で、ベンガラに近い）の衣装、子育てと織物と物売りは女の仕事で、帽子などの編み物は男の仕事―等々、独特の風俗にはすっかり魅了されてしまいました。

◆耕しながら上へ上へ

農民は段々畑から得られる作物で暮らしていましたが、山上から順に、小麦、玉蜀黍、じゃが芋―と高さによって作物の種類が変わります。住居は麓にあり、耕しながら上へ上へと登って行くのですが、山上付近で日が暮れてしまい、段々畑を築く石垣の陰で寝ることも度々だと聞き、驚きました。そしてそのような、決して楽な道は選ばないという生き方に、日本の棚田農民と同じ厳しさを感じ、感銘を受けたものでした。

この旅行では有名なチチカカ湖や〝ナスカの地上絵〟も観ることが出来ましたが、地上絵見物では小さな飛行機が何度も上がったり下がったりするものですから、皆すっかり気分が悪くなってしまったという笑えない出来事もありました。

こうして初めての南米旅行は大きな満足のうちに終了。この時のスケッチを元に、ペルーの山岳地帯の民家を描いた「丘の上の家々」（油彩）＝**写真上**＝など一連の作品を残しました。

◆同じ国を何度も訪問

その後、平成二年には初のニュージーランド旅行、同三年には二回目のメキシコ訪問＝**写真下**、二回目のキューバ訪問、五回目の訪中、同四年には二回目のスペイン訪問、六回目の訪中―と毎年のように外国を訪れてはスケッチを重ね、油絵などに仕上げては個展で発表していきました。

このように私の外国訪問は一度では済みませんでした。観光地を巡るだけでなく「そこで生活し、働く人々を描きたい」「仕事や暮らしぶりを直接訊いてみたい」と思うからです。だから最初は旅行社のツアーを利用しても、次からは必ず自分たちだけで訪れました。

そうした中で、次に私を捉えたのはヒマラヤを囲む国々でした。ブータン、ネパール、チベット―そこには世界最高峰を含む無数の雪山があり、またしても棚田がありました。（つづく）

独特の風俗と厳しい生き方
憧れの南米アンデスへ

メキシコをスケッチ旅行中の私（平成３年）

カーシェアリング
10分200円
会員制レンタル
カーシェア タニムラ
検索は「カーシェア　タニムラ」で
港区弁天4-10-26　☎06-6571-2355
受付:平日(月～金)8:00～18:00(詳細は受付まで)

出版のことなら
社史・記念誌・企業PR誌・自伝・詩歌集
お気軽にご相談ください
地元の出版社
JDC出版　TEL6581-2811 FAX6581-2670 港区波除6丁目5-5

健康マージャン教室
賭けない！飲まない！吸わない！
マージャンひろ　磯路3-25-3 喫茶おき2F　☎6574-6643

1人で悩まないで！
職場に組合のない人、アルバイト、パート、臨時・契約労働者……。ユニオンおおさかはひとりでも、誰でも入れる労働組合です。働く人々が地域で助け合う新しい組合です。
毎月の会費は、収入に応じて1000～3000円。
経験豊かなスタッフが親身になって解決へ努力します。まずお電話下さい。
無料。秘密守ります。
ユニオンおおさか
☎6575-3133　築港1-12-27 労働会館内

より良い余生のために自叙伝を！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
400字(原稿用紙1枚)で千円が標準料金です。
相思相愛で結ばれ、力を合わせて店を営んできましたが、軌道に乗った頃に夫の浮気が発覚。結局は離婚に至り、子らに支えられながら40代以降を生きてきました。そんな波乱の半生を丁寧に聴き取って冊子にして頂き、気持ちに区切りがつきました（田中・70代女性）
田中3-3-3 飯田編集事務所 ☎6571-4636